

卒業生のことば

温かい日差しが春の訪れを感じさせると今日の良き日、私たちは卒業を迎えました。本日は、私たちのために素晴らしい式典を挙げてくださり、ありがとうございます。

先生方をはじめ、保護者の皆様のあたたかな祝福に包まれながら卒業できることを、卒業生一同を代表して厚くお礼申し上げます。

思い起こせば、新潟商業高校に入学した三年前。志願倍率の高さを乗り越え、期待と不安の入り交じる中で入学した私たちは、数日後、これまでの先輩方が築き上げてきた新商の伝統と校風を、先生方から熱く指導いただき、中学校までの学校生活との違いに、緊張したことを覚えていました。旧体育館に入っていくとき、先輩方の整列が完了している中、叱られた全校集会は、まるで昨日のことのように感じられます。今では、八分休憩で授業準備や教室移動をこなしてきたことと相まって、時間を守る、時間を先読みして行動する力がつきました。これまでのご指導があったからこそ、私たちはこうして、新商生として成長することができ、立派な姿で卒業を迎えることができました。卒業生の方、本日まで私たちを指導してくださり、ありがとうございます。

卒業生の皆さん、保護者の皆様。大きなランドセルを背負い、小学校に入学した十二年前のことを、覚えていますか。今では、あのランドセルが非常に小さく感じられるくらいに、私たちは成長し、可愛らしかった容姿は、今ではたくましく、また美しくなりました。もう私たちは子供ではありません。

明日からは未来に希望をもち、それぞれの道を進んでいきます。

十九世紀のフランスの哲学者ポール・ジャネが提案した「ジャネーの法則」によれば、人生を八十歳と考えると、十八歳が人生の折り返し地点を迎える、といわれています。

年を重ねるごとにやらなければならないことが増え、それによって一日、一週間、一か月、一年、と時の流れを早く感じるようになります。気づけば卒業、就職、結婚、と時は流れ、あっという間に自分の子供の卒業式を迎えているかもしれないかもしれません。「時は金なり」という言葉がありますが、時は止まってもくれなければ、買うこともできず、増えてもくれません。毎日二十四時間、一年三六五日と決まっています。

これから就職、進学、一人一人違う道に進みますが、時間を無駄にせず、日々の生活を大切に生きていく必要があります。

三年間の高校生活は、あっという間に過去のものとなり、色あせてしまうことでしょう。それを鮮やかな色彩とともに鮮明に呼び起こしてくれるのは、卒業アルバムであり、また写真や脳裏に刻み込まれた記憶です。今日という日を二度と体験することはできませんし、戻ることもできません。高校生としての卒業式は一生に一度の今日限りです。カメラロールいっぱい写真を保存することで、今日という日に戻ってこられます。将来、苦しい場面に直面したときや、新たな仲間とうまくいかなかったときは、きつと、今日まで築き上げてきた友情が私たちを救ってくれるはず。今日までの絆を胸に、私たちは力強く前進していきます。

私たちがこの三年間で築いた校風がより良いものになるよう、在校生に思いを託し、我々卒業生は本日をもって卒業します。三年間お世話になりました。新潟商業高校が母校であることを誇りに、新商で過ごした三年間を胸に、精進して参ります。この学校で過ごした日々は、決して忘れません。